

会計情報に対する社会的要請に関するアンケート

2015年2月

早稲田会計研究センター (W-ARC)

研究代表 辻山栄子

本調査研究は、科学研究費補助金基盤研究 (B)「現代の財務会計に対する社会的要請に関する調査研究」(課題番号 25285140) の活動の一環として行われています。

近年の国際的な会計基準においては、いずれも「意思決定有用性」の向上を目的に掲げて基準の修正・改廃が行われています。その結果、会計情報が長い歴史の中で果たしてきたその他の目的との間でしばしば齟齬が生じている可能性が指摘されています。

そこで本アンケートは、そもそも現代の財務会計に対する社会的な要請の中で、意思決定有用性ないしは企業価値評価という目的が実際にどの程度の重要性をもっているのか、またその他の目的に対して意思決定や企業価値評価への有用性目的がどの程度優先的に考慮されるべきかを調査分析することを目的にしています。お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお本アンケートの所要回答時間は、およそ15～20分です。

- 調査結果は、2015年に科学研究費補助金基盤研究 (B)「現代の財務会計に対する社会的要請に関する調査研究」(課題番号 25285140) 報告書に収録されます。また以下のHPにおいても御確認いただけます。 <http://w-arc.jp/>
- ご記入いただきましたアンケート用紙は、大変お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2015年3月13日(金)まで**にポストに投函してください。
- 本調査によって得た情報については、個社および個人が特定されるような状態で使用することはございません。
- **ご回答をお願いしたい方**
投資・融資を主な業務とする企業における、証券アナリスト、投融資担当、ファンド・マネージャーのご回答をお願いいたします。
- 本調査に関するご質問などは、下記の連絡先までお願いいたします。
早稲田会計研究センター to.warc@gmail.com

調査票の構成

- 第1部：貴社の基本情報
- 第2部：会計情報に対する社会的要請
- 第3部：企業価値の算定とその他の用途
- 第4部：日本基準と IFRS との差異

※投資・融資を主な業務とする企業における、証券アナリスト、投融資担当、ファンド・マネージャーのご回答をお願いいたします。

第1部：貴社の基本情報

問1. 貴社の主要業種として、最もあてはまるもの1つに○印をお付けください。(複数の業種にかかわる場合は、直近の売上高が最も大きい業種をお選びください)

1. 農業・林業	2. 鉱業	3. 建設業
4. 食料品	5. 繊維製品	6. パルプ・紙
7. 化学	8. 医薬品	9. 石油・石炭製品
10. ゴム製品	11. ガラス・土石製品	12. 鉄鋼
13. 非鉄金属	14. 金属製品	15. 機械
16. 電気機器	17. 輸送用機器	18. 精密機器
19. その他製品	20. 電気・ガス業	21. 陸運業
22. 海運業	23. 空運業	24. 倉庫・運輸関連
25. 情報・通信業	26. 卸売業	27. 小売業
28. 銀行業	29. 証券／商品先物取引業	30. 保険業
31. その他金融業	32. 不動産業	33. サービス業
34. 投信・投資顧問会社	35. 年金基金	36. 格付け会社

(注) 1 から 33 までは、東証 33 業種にもとづく業種です。

問2. あなたの職種について、あてはまるもの1つに○印をお付けください。

1. 証券アナリスト	2. 投融資担当
3. ファンド・マネージャー	4. その他 ()

問3. あなたのご担当業務について、あてはまるもの1つに○印をお付けください。

1. セルサイド	2. バイサイド
3. セルサイドとバイサイドの両方	4. その他 ()

(注) セルサイドとは、投資銀行や証券会社に属しながら、株や債券を売る側を指します。
バイサイドとは、銀行系、証券系、生損保系、信託銀行などの資産運用会社に属しながら、資金を受託・運用する立場に立って、証券などの情報分析を行う側を指します。

問 4. あなたが想定している投資期間について、あてはまるもの全てに○印をお付けください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 数日以内 | 2. 数週間以内 |
| 3. 1ヶ月程度から6ヶ月未満 | 4. 6ヶ月以上1年未満 |
| 5. 1年以上2年未満 | 6. 2年以上5年未満 |
| 7. 5年以上 | |

問 5. あなたはどのような資産の投資に関わっていますか。あてはまるものに○印をお付けください。

(1) 伝統的な資産 (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 国内株式 | 2. 国内債券 |
| 3. 外国株式 | 4. 外国債券 |
| 5. その他、短期資産 () | 6. 伝統的資産の投資に関わっていない |

(2) オルタナティブ商品 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. ヘッジファンド | 2. コモディティ (商品) |
| 3. 不動産関連商品 (REIT など) | 4. プライベート・エクイティ |
| 5. その他 () | 6. オルタナティブ商品の投資に関わっていない |

第2部：会計情報に対する社会的要請

問 6. 会計情報の用途について

(1) あなたが重視している会計情報の用途についてお伺いします。あなたが重視しているもの3つを(A)~(F)から選び、その順位を記号で記入してください。

(注)「会計情報」とは、財務諸表の本体および注記によって提供される情報を指します。

(注)「企業価値の算定」とは、証券投資、M&A、事業再編など、「投資意思決定」目的で行われることが想定されています。

- | | |
|-------------|----------------------|
| (A) 企業価値の算定 | (B) 経営効率の判断や経営管理上の判断 |
| (C) 支払能力の評価 | (D) 分配可能額の算定 |
| (E) 課税所得の算定 | (F) 役員報酬の算定 |

1位 _____	2位 _____	3位 _____
----------	----------	----------

(2) 業務上、あなたがほとんど重視していない会計情報の用途があれば、あてはまるものに○印をお付けください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------|
| (A) 企業価値の算定 | (B) 経営効率の判断や経営管理上の判断 |
| (C) 支払能力の評価 | (D) 分配可能額の算定 |
| (E) 課税所得の算定 | (F) 役員報酬の算定 |

問 7. 現在の会計情報が社会的に役立っているか否かを、あなたの会計情報の利用状況に関わらず、評価してください。以下に掲げる(A)から(F)までの用途において、あてはまるものを1つずつ選んで○印をお付けください。

用途	役立ち度	役立つ	やや役立つ	やや役立たない	役立たない	該当なし*
(A) 企業価値の算定		1	2	3	4	5
(B) 経営効率の判断や経営管理上の判断		1	2	3	4	5
(C) 支払能力の評価		1	2	3	4	5
(D) 分配可能額の算定		1	2	3	4	5
(E) 課税所得の算定		1	2	3	4	5
(F) 役員報酬の算定		1	2	3	4	5

* 該当なし：1から4までの選択肢のうち、あてはまる選択肢がない

問 8. あなたの (1) 会計情報の利用状況、および (2) あなたが利用している具体的な会計情報についてお伺いします。以下に掲げる(A)から(F)までの用途において、あてはまるものに○印をお付けください。

(A) 「企業価値の算定」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)				
1. 利用する	2. 時々利用する	3. あまり利用しない	4. 利用しない	5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)					
1. 売上高	2. 営業利益	3. 経常利益	4. 当期純利益	5. 包括利益	
6. 総資産	7. 負債	8. 純資産	9. 営業CF	10. 投資CF	11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値	13. 金融資産の公正価値	14. 金融負債の公正価値			
15. 事業用資産の評価損益	16. 金融資産の評価損益	17. 金融負債の評価損益			

(B) 「経営効率の判断や経営管理上の判断」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)				
1. 利用する	2. 時々利用する	3. あまり利用しない	4. 利用しない	5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)					
1. 売上高	2. 営業利益	3. 経常利益	4. 当期純利益	5. 包括利益	
6. 総資産	7. 負債	8. 純資産	9. 営業CF	10. 投資CF	11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値	13. 金融資産の公正価値	14. 金融負債の公正価値			
15. 事業用資産の評価損益	16. 金融資産の評価損益	17. 金融負債の評価損益			

* 該当なし：1から4までの選択肢のうち、あてはまる選択肢がない

(C) 「支払能力の評価」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)

1. 利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 利用しない 5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)

1. 売上高 2. 営業利益 3. 経常利益 4. 当期純利益 5. 包括利益
6. 総資産 7. 負債 8. 純資産 9. 営業CF 10. 投資CF 11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値 13. 金融資産の公正価値 14. 金融負債の公正価値
15. 事業用資産の評価損益 16. 金融資産の評価損益 17. 金融負債の評価損益

(D) 「分配可能額の算定」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)

1. 利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 利用しない 5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)

1. 売上高 2. 営業利益 3. 経常利益 4. 当期純利益 5. 包括利益
6. 総資産 7. 負債 8. 純資産 9. 営業CF 10. 投資CF 11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値 13. 金融資産の公正価値 14. 金融負債の公正価値
15. 事業用資産の評価損益 16. 金融資産の評価損益 17. 金融負債の評価損益

(E) 「課税所得の算定」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)

1. 利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 利用しない 5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)

1. 売上高 2. 営業利益 3. 経常利益 4. 当期純利益 5. 包括利益
6. 総資産 7. 負債 8. 純資産 9. 営業CF 10. 投資CF 11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値 13. 金融資産の公正価値 14. 金融負債の公正価値
15. 事業用資産の評価損益 16. 金融資産の評価損益 17. 金融負債の評価損益

(F) 「役員報酬の算定」という用途において

(1) 会計情報の利用状況 (○は1つ)

1. 利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 利用しない 5. 該当なし*

※ (1) の質問の4～5に○印を付けた方は (2) の質問をとばしてください。

(2) 利用している会計情報 (○はいくつでも)

1. 売上高 2. 営業利益 3. 経常利益 4. 当期純利益 5. 包括利益
6. 総資産 7. 負債 8. 純資産 9. 営業CF 10. 投資CF 11. フリーCF
12. 事業用資産の公正価値 13. 金融資産の公正価値 14. 金融負債の公正価値
15. 事業用資産の評価損益 16. 金融資産の評価損益 17. 金融負債の評価損益

* 該当なし：1から4までの選択肢のうち、あてはまる選択肢がない

問 9. あなたの**非会計情報**の利用状況についてお伺いします。以下に掲げる(A)から(F)までの用途において、あてはまるものを1つずつ選んで○印をお付けください。

(注)「非会計情報」とは、財務諸表の本体および注記によって提供される会計情報以外の情報を指します。

用途 \ 非会計情報の利用状況	利用する	時々利用する	あまり利用しない	利用しない	該当なし*
(A) 企業価値の算定	1	2	3	4	5
(B) 経営効率の判断や経営管理上の判断	1	2	3	4	5
(C) 支払能力の評価	1	2	3	4	5
(D) 分配可能額の算定	1	2	3	4	5
(E) 課税所得の算定	1	2	3	4	5
(F) 役員報酬の算定	1	2	3	4	5

* 該当なし：1から4までの選択肢のうち、あてはまる選択肢がない

問 10. 自由回答

あなたが利用している**非会計情報**があれば、ご記入下さい。

(A) 企業価値の算定	
(B) 経営効率の判断や経営管理上の判断	
(C) 支払能力の評価	
(D) 分配可能額の算定	
(E) 課税所得の算定	
(F) 役員報酬の基礎	

第3部：企業価値の算定とその他の用途

問 11. あなたは、「企業価値の算定」に資する会計情報は、「その他の用途」に資する会計情報と両立できると思いますか。あてはまるものを1つに○印をお付けください。

(注)「企業価値の算定」とは、証券投資、M&A、事業再編など、「投資意思決定」目的で行われることが想定されています。

(注)「その他の用途」は、第2部に挙げていた(B)経営効率の判断や経営管理上の判断、(C)支払能力の評価、(D)分配可能額の算定、(E)課税所得の算定、(F)役員報酬の算定を指します。

1. 両立できる	2. 両立できない	3. よくわからない
----------	-----------	------------

問 12. 会計情報が「企業価値の算定」に資する情報と「その他の用途」に資する情報を同時に提供する際に不都合が生じた場合、あなたはどちらを優先して提供すべきだと思いますか。あてはまるもの 1 つに○印をお付けください。

- | |
|--|
| 1. 「企業価値の算定」に資する情報を優先すべき |
| 2. 「その他の用途」に資する情報を優先すべき |
| 3. 「企業価値の算定」に資する情報と「その他の用途」に資する情報との間でバランスを取るべき |
| 4. よくわからない |

第 4 部：日本基準と IFRS との差異

問 13. 日本基準と国際財務報告基準（以下、IFRS）において会計処理に差異がある主なもののうち、以下の 5 つの項目の代替的処理のなかから、あなたが望ましいと思うものに○印をお付けください。

(1) のれん (○は 1 つ)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 規則的償却+減損 | 2. 非償却+減損 | 3. よくわからない |
|-------------|-----------|------------|

(2) その他の包括利益 (○は 1 つ)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. ノンリサイクリング | 2. リサイクリング | 3. よくわからない |
|--------------|------------|------------|

(3) 財務諸表における公正価値測定の範囲 (公正価値測定すべきと思う項目に○印をお付けください。) (○はいくつでも)

(注) 生物資産とは、生きている動物または植物を指します。農産物とは、その生物資産からの収穫物を指します。

- | | | |
|-----------------------|------------|----------|
| 1. 有形固定資産 | 2. 無形資産 | 3. 投資不動産 |
| 4. 相場価格のない資本性金融商品への投資 | | |
| 5. 生物資産・農産物 | 6. よくわからない | |

(4) 開発費 (○は 1 つ)

- | | | |
|-------------|-------------------|------------|
| 1. 発生時に費用処理 | 2. 条件を満たしたものを資産計上 | 3. よくわからない |
|-------------|-------------------|------------|

(5) 機能通貨 (○は 1 つ)

(注) 機能通貨とは、企業が営業活動を行う主たる経済環境の通貨のことを指します。この機能通貨は必ずしも所在国の通貨とは限りません。

- | |
|----------------------------|
| 1. 連結の範囲は連結対象の法的区分に従うべきである |
| 2. 連結の範囲は機能通貨を考慮して判定すべきである |
| 3. よくわからない |

問 14. 自由回答

あなたが財務会計に対して期待していることや、日本基準・米国基準・IFRSの規定のうち改善すべきと思われる点などがありましたら、ご自由にお書きください。

--

【最後に】 ご回答者についてお伺いします

貴社名	
ご回答者所属・役職	
所属業界での勤続年数	
年齢	
連絡先（任意）	

質問は以上です。ご協力誠に有難うございました。